

Josai University

城西大学経営紀要

2019年3月 第15号

論文

- ブラジルの経済発展と日本企業川辺 純子 (1)
- ヴェブレンの制度論と高等教育辻 智佐子
辻 俊一 (27)
渡辺 昇一
- スポーツ界の体罰・セクシュアル・ハラスメント問題に
関する予備的考察高橋 欣也 (53)
山口理恵子

教育実践研究報告

- キャリア形成を踏まえた経営学部教育の実態と方向
—「キャリア・グローバル指向の
経営学部教育に向けた実態調査」を中心に—坂上 順子
上村 聖 (71)
小野 正人

研究ノート

- ローカルヒーローの展開に関する試論
概念と活動の変化について石井 龍太 (111)

2018年経営学部教員業績リスト

城西大学 経営学部

城西大学経営紀要

第 15 号

2019年3月

城 西 大 学

2018年経営学部教員業績リスト

新井 浅浩

「学びに向かう力の概念的検討 ― ガイ・クラックストンの 4Rs 理論を手がかりに ―」『城西大学教職課程センター紀要』第2号 城西大学教職課程センター 3-13頁。

「英国のシティズンシップ教育の推進と成果」2018/9/25 経済同友会 政治改革委員会講演。

「書評：Educational Progressivism, Cultural Encounters and Reform in Japan, edited by Yoko Yamasaki and Hiroyuki Kuno, (Routledge, 2017 222 p. xii)」『イギリス理想主義研究年報』第14号 日本イギリス理想主義学会 59-60頁。

石井 龍太

「『近世琉球』の考古学研究 ― 窯業史研究を通じ時代理解の枠組みを探る ―」『琉大史学』20, 39-50頁。

「宮古島狩俣集落 土壘調査概報」(石井龍太, 山本正昭, 阿部常樹, 久我谷溪太, 浦山隆一, 鎌田誠史)『東南アジア考古学』38, 57-61頁。

「多様化するローカルヒーローの可能性」2月24日 城西エクステンション・プログラム。

伊関 友伸

「地域医療を実践する内科医とは 具体的な地域医療活動 地域医療における行政担当者との関わり」『日本内科学会雑誌 107(7)』日本内科学会 1338-1343頁。

「人口減少時代における病院マネジメント職の採用と育成のあり方」『病院 77(10)』医学書院 775-780頁。

「書評 中島明彦『医療供給政策の政策過程：地域医療計画の形成・決定・実施過程と政策の変容』(同友館 2017年)」『年報行政研究 (53)』日本行政学会 166-169頁。

井田 浩之

『新版 教育課程論のフロンティア』(大津尚志・伊藤良高編著) 晃洋書房 執筆担当「第8章2 イギリスの教育課程」92-98頁。

“Why Information Literacy Integration Doesn’t Work: Exploring the Experience of Academic Staff”, 26/Sep/2018, European Conference on Information Literacy 2018 (Referred).

“How can we theorize academic librarians’ cross-boundary identity? ― Focusing on

information literacy as a new dimension of librarians' jobs", 5/Dec/2018, Society for Research into Higher Education (SRHE) Annual Research Conference 2018 (Referred)。

上村 聖

『ケースで読み解く経営戦略論』(草野素雄, 上村聖(編著), 他著者13名) 八千代出版 執筆担当 はじめに i-ii 頁 第3章産業廃棄物処理業における差別化戦略 38-50 頁。

「ピッキング作業者の意識及び行動特性と生産性との関係性に関する一考察」(上村聖, 黒川久幸, 麻生敏正), 『日本物流学会誌』No. 26, 33-40 頁。

「現場管理における要素作業計測の効果」(麻生敏正, 黒川久幸, 上村聖), 『日本物流学会誌』No. 26, 105-112 頁。

小野 正人

「キャリア・グローバル指向の学部教育に向けた実態調査」(小野正人他), 城西大学学長所管研究奨励研究・調査報告書, 209 頁, 2018 年 4 月。

川辺 純子

「グローバル経営戦略における地域統合の意味」草野素雄・上村聖編『ケースで読み解く経営戦略論』八千代出版, 2018 年, 150-165 頁。

「インドネシアにおける自動車産業政策と日系自動車メーカー——トヨタ・モーター・インドネシア(TMMIN)の事例——」『城西大学経営紀要』第14号, 1-29 頁。

「在外日本人商工会議所の活動——アジアを中心に——」ブラジル日本商工会議所 2018 年度下期の業種別部会長シンポジウム基調講演, 2018 年 8 月 23 日。

木内 正光

『ケースで読み解く経営戦略論』(草野素雄, 上村聖(編著), 他著者13名) 八千代出版 執筆担当 第12章 中小製造業の生産戦略 182-193 頁。

「製品設計業務におけるデジタルエンジニアリングの適用に関する研究——組立順序図作成業務を対象として——」, 木内正光, 玉木欽也 2018.6 日本設備管理学会 春季研究発表大会。

“A Study on Quality Deployment considering Actual Manufacturing”, Masamitsu Kiuchi, Kazushi Nagai, 2018. 9, 24th International Symposium on QFD (ISQFD2018)。

楢部 静二

「大学駅伝選手の障害と予防」平成30年10月27日 埼玉アスレティックリハビリテーション研究会。

「箱根駅伝選手のコラーゲンペプチドの効果」平成30年11月19日 新田ゼラチン株式会社 コラーゲンセミナー。

「男子駅伝選手の膝痛発生に対するコラーゲンペプチド摂取の効果」君羅好史他 日本栄養・食糧学会大会講演要旨集 2018年4月27日。

栗田るみ子

「IT産業における再生戦略」草野素雄・上村聖編『ケースで読み解く経営戦略論』八千代出版、2018年、114-129頁。

「教授学習方略の持続的醸成支援のためのアクティブ・アナリティクス手法」, 中村勝一(代表), 栗田るみ子他, 研究開発, 科研B, 2017-2021。

「JWESTを活用した坂戸・毛呂山・日高・生越・鶴ヶ島の地域活性化プロジェクト」, 栗田るみ子他, 城西大学学長所管研究発表, 2018/4。

坂上 順子

『ケースで読み解く経営戦略論』(草野素雄, 上村聖(編著), 他著者13名)八千代出版 執筆担当 第5章 金融業における差別化戦略 68-83頁。

佐々木達也

『箱根駅伝を超越しようとした幻の「能登駅伝」』大久保英哲編著 能登印刷出版部 執筆担当 コラム「箱根駅伝のビジネス化」254-257頁。

『スポーツ科学概論(改訂版)』金沢星稜大学人間科学部スポーツ学科編 能登印刷出版部 執筆担当 第10章「スポーツビジネス」57-67頁。

平成29年度北陸体育学会学会大会口頭発表1/28 しいのぎ迎賓館「石川県におけるトップスポーツクラブネットワーク化構想——トップス広島の事例をもとに——」。

杉岡 直人

「組織変革とリーダーシップ：グループ研究の成果と職場での活かし方」2018年10月20日 公益財団法人日本生産性本部経営アカデミー 組織変革とリーダーシップコース講演。

杉本 理

講演及びパネリスト：講演タイトル“(I think I) Stayed Hungry, Stayed Foolish”，イベント名：Tsukuba Global Science Week, 9/20/2018, セッション名：How to Create a Global Startup City, 言語：英語。

誉 清輝

日韓次世代学術フォーラム第15回国際大会の引率教授（期間 6/30-7/1 場所 県立静岡大学）。

高柿 健

連載「勝者のインテリジェンス～ジャイアントキリングを可能にする野球の論理学」『ベースボールクリニック』第29巻7-12号 ベースボールマガジン社。

高橋 欣也

『ケースで読み解く経営戦略論』（草野素雄，上村聖（編著），他著者13名）八千代出版 執筆担当 第15章 事件から学ぶコンプライアンスと経営 225-237頁。

田部 溪哉

『ケースで読み解く経営戦略論』（草野素雄・上村聖 編著）八千代出版 第6章 家電産業における集中戦略 84-96頁。

「ECサイト利用者の知覚価値によるロイヤルティ形成：ウェブサイトへの満足の媒介効果に焦点を合わせて」、『城西大学経営紀要』第14号城西大学経営学部，63-79頁。

「スポンサードコンテンツ形式の広告表現に関する研究：表現研究と媒体研究の架橋に向けた要点整理」2018年7月14日 日本商業学会関東部会研究会／日本広告学会第4回関東部会研究会（共催）。

千葉 佳裕

「鍛治木峻選手の大学4年間のトレーニングについて」、『陸上競技研究』第3巻9号 37-43頁。

「ミニハードルテストのタイム疾走時のピッチと関連するか？」（吉本隆哉，高井洋平，土江寛裕，千葉佳裕，原村未来，舟橋毅，金久博昭）『トレーニング科学』第29巻3号 出版社もしくは発行所，267-274頁。

「栃木県アドバイザーコーチ研修」11月17日（土曜） 栃木陸協。

張 紀濤

「動向・経済 雇用の動向, 所得・賃金の動向」中国研究所『中国年鑑 2018年』中国研究所, 167-170頁, 2018年5月25日。

「労働」中国研究所『中国年鑑 2018年』中国研究所, 342-346頁, 2018年5月25日。

「日本企業の経営管理と現地化の発展モデル」日中経済発展センター主催, 6月4日(月曜日), 早稲田大学, 浙江省中小企業協会訪日代表团。

塚本 成美

「シルバー人材センター会員の加齢と就業(2) — 就業した仕事内容の変化」(塚本成美/中村桃美/石橋智昭), 老年社会科学会報告 2018年6月10日。

「高齢社会問題とシルバー人材センターの役割」, 平成29年度埼玉県シルバー人材センター連合会代表理事研修講演 2018年3月5日。

「高齢社会におけるシルバー人材センターの役割」, 平成30年度近畿シルバー人材センター連絡協議会役員研修講演 2018年6月20日。

辻 智佐子

「戦後の今治タオル工業の発展と近藤繊維工業: 近藤憲司による革新的経営手法の導入」『城西大学経営紀要』第14号, 2018年3月, 城西大学経営学部, 31-61頁。

『タオルびと』第五章 松下幸之助と今治タオル: 松下流経営を継承・発展させたタオルメーカー二代目・近藤憲司」2018年3月10日, 今治市立図書館主催講演会。

その他(月刊記事)

「タオルびと」2012年11月16日より毎月配信(「タオルびと」制作プロジェクト委員会)今治市立図書館 (<http://www.library.imabari.ehime.jp/towelbito/index.html>)。

羽瀨 信宏

文科省第4次産業革命に対応し地域振興に寄与できる開映管理人材育成の実施モデル構築(e-ラーニングの積極的活用等による学び直し講座開設など)。

山口理恵子

『よくわかる スポーツとジェンダー』飯田貴子, 熊安喜美江, 來田亨子 ミネルヴァ書房

I. 基礎理論 4. 「エンパワメント: その光と影」8-9頁。

共同執筆

「スポーツ研究入門 〈スポーツとジェンダー〉に関する教育実践」(リラマニ・デ・ソイサ, 山口理恵子), 『現代スポーツ評論 39』創文企画, 148-155 頁。

柳下 正和

小淵洋一, 大水善寛編著『コンテンポラリーミクロ経済学』中央経済社 執筆担当 第3章「需要曲線の導出」41-56 頁, 第4章「企業行動と供給曲線」57-72 頁, 第10章「ゲーム理論」127-138 頁, 第12章「情報と不確実性 第1節, 第2節, 第3節」153-159 頁。

篠原正博編『中央大学経済研究所叢書 73 経済成長と財政再建』中央大学出版 執筆担当 第2章「日本の財政運営と財政政策」35-52 頁。

「城西大学経営紀要」投稿規程

平成17年6月10日 施行

平成20年9月10日 改訂

平成23年1月21日 改訂

平成27年7月17日 改訂

第1条 趣旨

城西大学経営学部の研究の実績と教育効果を学部学生及び広く社会に広報し、当該学部の発展に寄与するために「城西大学経営紀要」（以下、「紀要」という）を編纂する。

第2条 管理

「紀要」の管理・運営は教授会の議決を経て行い、「紀要」の編集等に関する実務は「経営学部紀要編集委員会」（以下、「編集委員会」という）が担当する。

第3条 投稿資格

(1) 「紀要」に投稿できる資格を有する者は次の各号に掲げる。

- ① 本学経営学部専任教員
- ② 本学非常勤講師
- ③ 「編集委員会」の許可を得た本学他機関（学部およびセンター所属）教員

(2) 前項①で共著の場合も原則として認めるものとする。

第4条 投稿原稿

(1) 投稿原稿は、広義の経営学に関するテーマで、日本語又は英語で書かれた未公刊の「学術論文」、「研究ノート」、「教育実践研究」、「翻訳」、「資料」、「書評」および紀要編集委員が認めたものに該当するものとする。

(2) 投稿宛先は、編集委員長とする。

第5条 著作権と著作物

(1) 本著作物の「紀要」に関する著作権は、著作者に帰属されるが、本「紀要」に限定して別紙「紀要の著作権に関する承諾書」を交付する手続をした場合は城西大学に帰属するものとする。

(2) 前項において、学部を離職等の場合も、本「紀要」には適用する。

(3) 前1項の手続きを得ない場合には「紀要」に掲載されないこととする。

第6条 他機関への投稿

本「紀要」に掲載された著作物を他の出版物に転用する場合は、予め「編集委員会」にその

旨を記した書類を提出し了承を得ることとする。

第7条 掲載の採否

- (1) 本「紀要」への投稿原稿の採否は、「学术论文」については「編集委員会」が委嘱するレフリーの審査に基づき、「編集委員会」が決定する。
- (2) 前項以外のものについては、「編集委員会」が決定する。
- (3) 掲載の順序及び体裁については、「編集委員会」が決定する。

第8条 原稿料等

- (1) 原稿料は支払わない。ただし、30部の抜き刷りを贈る。
- (2) 前項で30部を超えた部数を必要とされる場合には、当該分の印刷費は執筆者の実費負担とする。

付 則

1. この規定の改正は、教授会の議決を経て行う。

執筆者紹介（本号掲載順）

- 川 辺 純 子（本学経営学部 客員教授）
辻 智佐子（本学経営学部 教 授）
辻 俊 一（株式会社NHK文化センター）
渡 辺 昇 一（東京弁護士会）
高 橋 欣 也（本学経営学部 助 教）
山 口 理恵子（本学経営学部 准 教 授）
坂 上 順 子（本学経営学部 准 教 授）
上 村 聖（本学経営学部 教 授）
小 野 正 人（本学経営学部 教 授）
石 井 龍 太（本学経営学部 准 教 授）

編集後記

統計不正問題が社会をさわがせている。「毎月勤労統計調査」「賃金構造基本統計」など日本の労働状況や雇用・所得状況を分析するうえで最も汎用性も信頼性も高いはずの統計調査が、不適正に行われていたということである。とくに、「毎月勤労統計調査」は都道府県レベルの給与、労働時間や雇用者数などの推移がわかる数少ない統計データであり、これをもちいて書かれた論文の数はかぞえきれないほどあるだろう。実証や論証をくりかえして厳密で確実な知識や情報を提供するのが科学のひとつの役割である。その基礎として使用される統計データが不適正な調査によってつくられていたのでは話にならない。

データ収集やデータ解析が主流となっている現在の社会科学において、データの不適正な収集や処理、改ざんは致命的な問題であり、科学的検証の信頼性や確実性を根底から覆すものである。くわえて、官公庁統計は政策策定だけではなく、平均給与額などによって変動する雇用保険や労災保険の支給額算定の基礎資料としても使用される。新聞などでも報道されているように、労働者や企業にとっては存在そのものに関わる問題である。

研究者にとって最も大切なのは「知的誠実」である。研究や調査の結果、それがいかに自分に都合の悪いことでもありのまま受け容れ、現実を現実として認識し、そこから出発することが重要である。社会科学は現実から出発しなければならない。

社会を統計的に認識するむずかしさは、それが言葉の定義や調査方法、質問票の構成や文言などによって微妙に違ってくるだけではなく、調査そのものが人間によって担われているということにもある。「数字」や「数式」によって表される「客観的現実」であっても、それは決して自然科学のような客観性ではないということである。ICT技術がどれほど進もうとも、最終的には人間の責任感が重要であるということだ。私たち研究者は統計を利用する際に、そのことを常に意識しておかなければならない。

最後に、忙しい学務の合間をぬって投稿して下さった先生方と手間のかかる査読を引き受けて下さった先生方には、この場をかりて、謝意を表したい。

編集委員

伊関友伸・塚本成美・石井龍太・田部溪哉

城西大学経営紀要 第15号

平成31年3月31日 発行 (非売品)

編集者 城西大学経営紀要編集委員会
発行者 城西大学学長 白 幡 晶
印刷者 株式会社 外 為 印 刷
発行所 城 西 大 学
埼玉県坂戸市けやき台1-1
TEL 049-286-2233 (代)
〒350-0295

© 2018 城西大学

JOSAI MANAGEMENT REVIEW

Vol.15 No.1 March 2019

Articles

Japanese Firms and Brazilian Economic Development ...Sumiko Kawabe (1)

A Consideration of Institutional Design
for Higher Education by the Institutional Theory of Thorstein Veblen Chisako Tsuji
Shunichi Tsuji (27)
Shoichi Watanabe

A Preliminary Study on the Problem
of Sexual Harassment and Abuse in Sport Kinya Takahashi (53)
Rieko Yamaguchi

Educational Practice Research

Current Conditions and Directions in Education at the Faculty
of Management vis-a-vis Student Career Development
— Based mainly on “The Survey on Current Conditions regarding
Career-and Global-Oriented Education at the Faculty of Management” — Junko SAKAGAMI
Shikato KAMIMURA (71)
Masato ONO

Study Notes

A Hypothesis on the History of Local Hero
About the Changes of their Concepts and Activities Ryota Ishii (111)

Faculty of Management, Josai University

1-1, Keyakidai, Sakado-shi
Saitama, JAPAN